



佐久地区賛助会報

あさあ

第50号 [秋号]

2018年10月16日

(公財)長野県長寿社会開発センター佐久地区賛助会  
電話0267-63-3141 (佐久合同庁舎)

2018信州ねんりんピック  
文化芸術交流大会 in佐久  
～多世代がつながり夢広がる未来～  
＜平成30年9月28日(金)～30日(日)＞



＜信州御代田龍神太鼓保存会「鼓響」によるオープニング風景＞

2018信州ねんりんピック「文化・芸術交流大会」が、5年ぶりに佐久市において開催されました。

期間中は、高齢者作品展・式典・交流イベントが佐久市コスモホールで、囲碁・将棋大会が佐久市野沢会館において盛大に開催されました。大型の台風24号の接近による影響が懸念されましたが、中部横断自動車道の延伸に伴い臼田ICが開通したことも相まって、県下各地から期間中延800人のご来場者がありました。

また、佐久地区賛助会も実行委員会構成メンバーとして、会場設営・受付・案内・誘導・駐車場管理等に延68人が従事したほか、ステージ発表や体験工作教室ブースへの出店等に従事しました。

ご協力頂きました皆様に、感謝申し上げます。

＜式典＞ ～平成30年9月29日(土) 於:佐久市コスモホール～

式典は、勇壮な龍神太鼓「からっ風」の演奏により始まり、佐久地区賛助会の伴野秀子副会長の司会により進行いたしました。

最初に主催者を代表して、内山二郎実行委員長から挨拶があり、引き続き大月良則長野県健康福祉部長、柳田清二佐久市長がご挨拶をされました。

その後、①長野県知事表彰(3名・4団体)、②(公財)長野県長寿社会開発センター理事長表彰(14名・4団体)、③(公財)長野県長寿社会開発センター理事長特別表彰(35名)の表彰式が挙行されました。

○ 佐久地域で受賞されました皆者は、次のとおりです。 ～おめでとうございます～

【長野県知事表彰】 <高齢者福祉の分野で、他の模範となる活動をされ、優れた功績を挙げられた皆様です。>

・ふれあいレターの会 様 (小諸市)

【(公財)長野県長寿社会開発センター理事長特別表彰】

<シニア大学、賛助会グループ等の講師として10年以上従事し、特に顕著な功績があった皆様です。>

- ・黒澤 一也 様 (佐久市)      ・早川満智子 様 (佐久市)
- ・武井 宣子 様 (佐久市)      ・岩本 幸枝 様 (佐久市)
- ・内堀 甫亜 様 (佐久穂町)



引き続き、受賞者を代表して、野畑義貴様(松本地区賛助会役員)から、「今後も微力ながら、地域社会の発展のために尽力したい。」旨のお礼のご挨拶がありました。

その後、ご来賓を代表して長野県議会副議長の小林東一郎様から、「人口減少に直面している昨今、高齢者の皆様には、社会を支えるために豊富な人生経験によって幅広い知識や技能を地域づくりに生かすことが期待されてる。皆様には、日頃の努力の成果を遺憾なく発揮していただき、人生二毛作の実践を深め、豊かな長野県づくりにお力を貸してほしい。議会としても、共に支え合い、明るく暮らしていける社会づくりに努力する所存である。」旨のご挨拶がありました。

そして、ご来賓の皆様のご紹介があり、無事式典を終了いたしました。



内山二郎実行委員長

(挨拶要旨)

今回のねりんピックは、第30回目となり、健康長寿のまちづくりを進めている佐久市において開催されました。

皆様におかれましては、それぞれのお立場で、「誰もがその人なりに生き抜く、明るく活力ある長寿社会の実現」にむけ、日頃からご尽力されていることに対し、深く敬意を表します。

今回は、「多世代がつながる夢広がる未来」と題し、「とことんしゃべり場」等の企画をいたしました。開催にあたりご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

<ステージ発表>

～平成30年9月29日(土) 於:佐久市コスモホール～

ハーモニカ演奏



日本舞踊



銭太鼓



コカリナ演奏



民舞



<賛助会員によるステージ発表>

- ① ハーモニーあじさい・ハーモニーやまびこ (上小)
- ② シニア民舞会 (佐久)
- ③ 銭太鼓を楽しむ会 (佐久)
- ④ コカリナ木霊 (佐久)
- ⑤ 舞幼の会と佐久地区賛助会有志一同 (佐久)

**<高齢者作品展>** ～平成30年9月28日(金)～30日(日) 於:佐久市コスモホール～



書の部 <佐久市長賞>  
中島さち子 作 (佐久市)

手工芸の部 <佐久市長賞>  
臼田文子 作 (佐久市)

手工芸の部 <奨励賞>  
土屋おき子 作 (佐久市)



出展作品の展示

出展作品の整理

出展作品表の貼付

**<体験工作教室>** ～平成30年9月29日(土) 於:佐久市コスモホール～



似顔絵体験コーナー  
(高校生)

数珠玉ネックレス制作体験  
(ハンドメイド友の会)

革製ブレスレットの作成体験  
(ハンドくらぶ)

**<囲碁・将棋大会>** ～平成30年9月29日(土) 於:佐久市野沢会館～

囲碁・将棋100名が参加し、熱戦を繰り広げました。  
なお、入賞者には、賞状が交付されました。



# 平成30年度 佐久地区賛助会 理事研修会

～佐久地区賛助会に期待すること～

- ◆ 日時 平成30年7月19日(木)午前10時～午後2時
- ◆ 場所 女神湖「ホテルアンビエント蓼科」研修室
- ◆ 講師 長野県長寿社会開発センター 常務理事 大日方正明 様  
長野県長寿社会開発センター佐久支部  
支部長(事務局長) 唐沢 忍 様  
シニア活動推進コーディネーター 橋本 昭弘 様
- ◆ 演題 「賛助会に期待すること」



当日は、蓼科山の中腹、標高1830mに広がる「御泉水自然園」に午前10時頃に到着し、森林浴に浸りながら自然園内を散策してゴンドラ山頂駅まで歩きました。

ゴンドラ山頂駅近くに本年新たに設置された「女神のそらテラス」では、周囲の木々の中にポツンと青い水をたたえた女神湖が目の前に、そして後方には美ヶ原や北アルプスの山々が広がり、夏の高原の爽快な風を感じながら、豊かな自然をゆっくりと楽しみました。

その後、ゴンドラリフトで空中散歩を楽しみながら山麓駅まで下り、迎いのバスでホテルへ向かいました。

ホテルで昼食後、研修室で理事会及び研修会が開催されました。



## <理事研修会について>

- ▼ 第1回 平成27年7月24日(金) (講師) 長野県佐久保健福祉事務所長 小林良清 様  
演題: 「2025年問題」に備えて ～人生の最終段階を、みんなで支えるために～
- ▼ 第2回 平成28年7月22日(金) (講師) 長野県佐久保健福祉事務所長 小林良清 様  
演題: 「2025年問題」に備えて ～どうなる? これからの医療・介護～
- ▼ 第3回 平成29年7月20日(木) (講師) 長野県長寿社会開発センター 常務理事 大日方正明 様  
演題: 「自分の人生をふりかえって」

## <理事会>

### 【報告事項】

- ① 平成30年度佐久地区賛助会総会・研修会について【平成30年5月24日(木)】  
…参加者54名(来賓9名・一般参加2名・賛助会員43名)・参加者の減少が今後の課題。
- ② シニア大生との合同ハイキングについて【平成30年6月15日(金)】  
…参加者43名(シニア大生24名・賛助会員19名)・雨のため参加者減少(申込者57名)
- ③ 第2回兎と亀の運動会について【平成30年6月25日(月)】  
…参加者55名(申込者62名)・開催時期及び種目について次回開催時再検討。
- ④ 平成30年度第1回地区賛助会連絡協議会について【平成30年6月21日(木)】  
…唐沢支部長、加藤会長、北村副会長が出席。各地区賛助会とセンターとの協議会。
- ⑤ 2018信州ねんりんピックの高齢者作品展及びスポーツ交流大会の募集について  
…事務局より募集依頼。

### 【協議事項】

- ① 2018信州ねんりんピック文化・芸術交流大会の係分担等について
- ② 佐久地区賛助会グループ長連絡網の作成について



## <研修会>

### 【大日方常務理事 講演要旨】

賛助会は、長野県長寿社会開発センターの目的・事業に賛同されている方々の集まりです。センターの設立趣旨は、積極的な社会参加活動を展開することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを増進し、「豊かで活力ある長寿社会づくりを進めることです。

私は、「趣味のグループで知り合い、そのグループ活動で繋がりをつくり、和を広げ、社会との繋がりを強め、地域貢献活動をしていく」ということが、シニア世代にとって大切なことだと考えています。

地域貢献活動というのは大変なことです。今年度の長野県の重点施策でもあります。既に取り組んでおられる方もおいでになりますが、更に、できる方は是非取り組んでいっていただきたいと思います。

賛助会に期待することは、シニアの方々がセンターの活動を理解し、このようにお手伝いしてくれるということです。賛助会及びシニア大学に大いに期待しています。

センターとしては、今年度シニア活動推進コーディネーターを5人増やし、県下各支部に1人ずつ配置することとしたので、全県的な活動の活発化につながることを期待しています。

なお、認知症と社会参加活動の関係について、国の研究センターや早稲田大学での長期間にわたる調査では、社会参加活動の度合いが大きいほど、認知症の発生率が低くなっているそうです。

とにかく、基本的には人と人との繋がりが大切です。何もしないで手をこまねいていても得られるものではありません。何もやってきません。

賛助会の皆さんのお力を、多いに期待しています。

### 【橋本コーディネーター 講演要旨】

少子高齢時代において、シニア世代は、若年層をサポートしていく大切な役割を担っています。

また、賛助会活動は、自立に向かって進んできています。

そこで、今後は、賛助会活動・グループ活動を外に向けて開いていき、地域の方々を巻き込むなど、広域での活動にしていていただきたい。

これからも、皆さんで是非賛助会活動を盛り上げ、社会参加活動に広げていくとともに、無理をしない形でいいですから、賛助会活動の自立を目指していただきたいと思っています。



- 活動の自立  
事業計画、予算立て・執行、連絡体制の確立
- 活動を開く  
まずは、自分やグループのことを話す・公開する

## こどもわくわくフェスタ2018 ～シニアと一緒に作る！あそぶ！体験する2日間！～

平成30年8月6日(月)・7日(火)に、佐久市こども未来館科学体験工房において、「こどもわくわくフェスタ2018」が開催され、賛助会員及びシニア大学生・OBが、じゅず玉ネックレス・革細工・折り紙・昔遊び・タオルを使った犬づくり・草笛等の先生役として参加しました。

当日は、小さなお子さんや父母・祖父母ら約975名が参加し、昔遊びや様々な創作体験を通じ、シニア世代との交流を図りました。

こま回しの上手な小学生2人は、「東京と千葉から帰省し祖父と来場した。学童保育でこま回しを教わった。来年も来てみたい。」と話していました。

ご協力頂きました皆様に、感謝申し上げます。

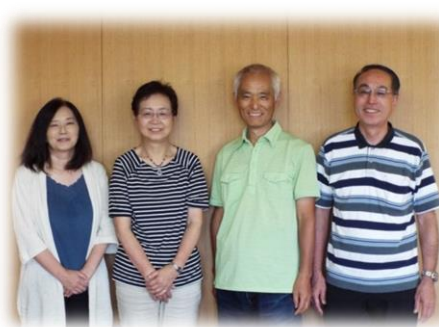


## 活動サポーター研修会 ～賛助会の現状等について～

平成30年7月27日(金)に、長野県長寿社会開発センターで開催された「活動サポーター研修会」に、佐久地区賛助会から4名が参加し、センターの活動状況や賛助会の現状について説明を受けた後、支部通信員としての情報提供の仕方等についてグループごとに協議・発表を行いました。

個人賛助会員数は、平成15年(7,612人)をピークに減少し、平成30年3月31日現在では、2,926人となっています。

佐久地区賛助会は、賛助会員432人・25グループとなっており、女性の割合(72%)が県下で一番多くなっています。今後、多くの男性にも加入をしていただきたいと思います。



- ※写真左から  
 <社会活動推進員>  
 ・ 藤巻千恵子  
 <活動サポーター>  
 ・ 臼田 佳子  
 (ハンドメイド友の会)  
 ・ 菊池 勉  
 (和踊会)  
 ・ 萩原 幸男  
 (親墨会)

## 今後の活動予定

### 2018信州ねんりんピックin東御 ＜スポーツ交流大会＞

- ◆ 日時 平成30年10月20日(土)  
午前8時45分～
- ◆ 場所 東御中央公園ほか
- ◆ 種目 テニス・ゲートボール・ペタンク等

### 平成30年度賛助会員 活動発表会

- ◆ 日時 平成30年11月22日(木)  
午前10時～
- ◆ 場所 佐久合同庁舎5階講堂ほか
- ◆ 発表 ステージ発表・展示発表